

生きがい通信 No.169

公益社団法人 習志野市シルバー人材センター

習志野市屋敷4-6-6 東部保健福祉センター内

TEL493-8011 FAX493-8040

URL:http://www.sjc.ne.jp/narashino/ E-mail:narashino@sjc.ne.jp

平成29年6月30日現在

会員数:947名

男性760名 女性187名



田中真太郎市議会議長 挨拶



宮本泰介市長 挨拶

習志野市社会福祉協議会会長 野手 利浩様
 習志野市議会議長 田中 真太郎様
 習志野市市長 宮本 泰介様
 習志野市議会議長 海寶 嘉胤様
 習志野市議会議長 後藤 晃様
 習志野市議会議長 谷津 奏の杜地区
 習志野市議会議長 監事2期、理事1期計6年

平成29年6月20日(火)午前10時より習志野市民会館において平成29年度定時総会が開催されました。司会の小野崎英雄氏(袖ヶ浦地区理事)の開会のことばのあと、吉野和男会長が挨拶をされました。続きまして、ご多忙の中ご臨席いただきました来賓の方々から心温まるご祝辞をいただきました。

平成29年度定時総会

報告第1号
 報告第2号
 報告第3号
 報告第4号
 平成29年度収支予算について

落合 昭雄様
 「大久保・本大久保・泉町地区」理事3期6年
 続きまして、事務局より定足数の報告があり、本総会が有効に成立する旨の報告の後、長束有峰氏(谷津・奏の杜地区)が議長に選出され、進行上の諸注意などの説明があり議事に入りました。



吉野和男会長 挨拶

議案第1号
 定款の一部変更について
 議案第2号
 平成28年度決算について
 議案第3号
 理事15名の選任について
 議案第4号
 監事2名の選任について
 質問もなく、議長は議案毎に採決をとり、各議案とも承認されました。議事終了後、新旧役員が紹介され11時30分、本総会は全て終了いたしました。

行事予定

入会説明会(定例)

毎月第2・第3水曜日
午前9時30分～
シルバー会議室

就業相談(予約制、会員限定)

毎月第2・第3水曜日
午後1時30分～(30分単位)
シルバー会議室

リサイクル自転車販売

毎月5日、20日 午前9時～正午
リサイクル作業所(袖ヶ浦)

刃物研ぎ作業

毎月5日、12日、20日
午前9時～
リサイクル作業所(袖ヶ浦)

リサイクル作業所(袖ヶ浦)

毎月第4木曜日 午前9時～
シルバー作業室

※その他、各町会、マンション、集合住宅自治会などへ出張させていただいております。詳細は、シルバー事務局にお問い合わせください。

書道教室

毎月第1、第3火曜日
午後1時30分～
シルバー会議室

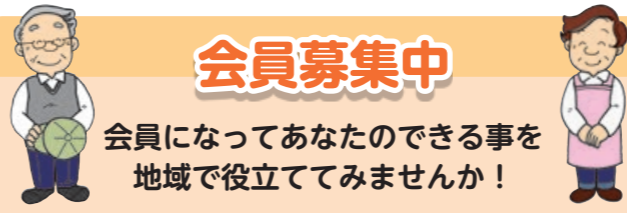
※入会希望の方は、シルバー事務局にお問い合わせください。(事務局)

おめでとうございます シルバー人材センター法制化30周年記念表彰

長年にわたり、高齢者の就業に貢献された功績が認められ、平成29年6月22日、吉野和男会長が、全国シルバー人材センター事業協会から、シルバー人材センター法制化30周年記念表彰を受賞されました。



会員募集中



会員になってあなたのできる事を地域で役立ててみませんか!

入会条件 市内在住の健康で働く意欲のある60歳以上の方

入会説明会

日時:毎月第2・第3水曜日 午前9時30分～
場所:シルバー人材センター会議室(東部保健福祉センター内)

必要書類 写真(3cm×2.5cm)、印鑑、郵便局の口座番号

編集後記

桜が全部散った四月下旬に信州岡谷市に行った。最近、年に一度は会う学生時代の運動部の同期K君より、木彫(仏像)作品展への招待状が届いた為で、朝早く発ち、十時過ぎに丁度桜満開の現地に着いた。

彼の何処にそのような才能があったのかと思ったが、高々三年位の付き合いで何が分かる筈もなく、早速に六十点以上の作品を観て回った。後で聞けば子供の頃から興味はあったらしいが、本格的に取組んだのは四十台後半との事。朝は三、四時頃起き、コツコツと彫り続けて来たそうだ。(家はそっち除け?) 作品に疑問が湧けば京都や奈良迄出掛けて実物を観察しては又彫るといふ作業を繰り返して。

一時間半ほど観てから諏訪湖周辺を散策し、夕刻近くには南アルプスを列車右手方向に、又、薄墨のような富士の峰を左右交互に見ながら帰途についた。K君は今も年二作ペースで彫り続けている。そう言えば仏像にちょっと似ている感じもする彼が来場者に熱心に説明しているのを思い浮かべながら。

広報部会

シルバーフェア作品募集

【第9回ならしのシルバーフェア】の開催が決定しました。作品を募集いたしますので奮ってご応募ください。開催日時:平成29年10月5日(木)～10月7日(土)

午前9時～午後3時【最終日は午後2時まで】

開催会場:シルバー人材センター会議室、ロビー

出展対象:シルバー人材センター会員 他

※出展希望者は事務局まで申し込みをして下さい。

※申し込み期間8月7日(月)～9月22日(金)

※作品の納品及び引取りに関しましては後日お知らせいたします。

※出展作品分野は書(実用書含む)、絵画、手工芸、写真他となっております。

※皆様のご協力お願い致します。

実行委員会

芙蓉園文化祭同時開催



新庁舎 夢と希望と 笑顔あり (吉野 和男 屋敷地区)

市のシンボル 新庁舎 そびえ立つ (橋川 義三 鷺沼台地区)

出発進行! 夢と希望を乗せた、新庁舎(舎) (赤羽 義郎 谷津地区)

百年も 野の香りの似合う 新庁舎 (ペンネーム 市在住50年生 花咲地区)

仰ぎ見る 背筋伸ばすと ぎっくり腰 (ペンネーム 八回転居 大久保地区)

新庁舎 まずは下見に 屋上へ (西田 梓 藤崎地区)

ふるさとの 歴史をつくる 新庁舎 (小倉 紘 谷津地区)

新庁舎 福祉ファースト 黒字書き (宮口 克文 袖ヶ浦地区)

今後も皆様から『柳』募集いたしますので奮ってご応募ください。次回(平成29年10号)のお題は次の通りです。【秋の空】締め切りは「9月8日(金)」必着とさせていただきます。

私の生きがい ～生涯現役～

谷津地区 後藤 晃

私は今年の1月で72歳になりました。6回目の年男です。私は退職と同時にハーモニカを始めました。たかがハーモニカと思っていました。なかなか思うようにはいかず苦しかったです。

幸い、素晴らしい先生に恵まれ、吹くことの楽しさを教えていただきました。レパートリーも50曲を超え、かつてはシルバー人材センター互助会活動で同好会(サークル)を立ち上げ、施設への慰問活動などをしたことが思い出されます。

最近は一人で楽しんでいますが、過日、女性交流会「夢の輪」で久しぶりに先生と二人で演奏する機会をいただき楽しむことができました。

今、新曲に挑戦しています。

吹けるようになった時の喜びは何事にも代えがたく、これが私の生きがいの一つです。これからも新しい曲に挑戦してまいります。



(右が後藤晃会員)



千葉県シルバー人材センターの日「PR活動

毎年6月8日は、千葉県シルバー人材センターの日です。シルバー人材センターの活動内容を皆様にご理解いただくため、県内各センターで一斉に普及啓発の街頭PR活動等を行っております。

当センターも6月8日(木)にJR津田沼駅、新習志野駅でPR活動を行いました。

JR津田沼駅には、吉野会長はじめ役員、協力会員等多数が午前7時前に集合。シルバー人材センターの【のぼり旗】を立て、揃いのロゴ入りベスト、帽子を着用、平賀事務局長より注意事項の説明を受けた後、活動に入りました。通行の方々には「おはようございます」「シルバー人材センターです」と明るく声を掛けながらPR用ポケットティッシュとウエットティッシュを配りました。通行の皆様方は、好意的にお受け取りいただき、予定時間より早く完配。幸い降雨前に活動が終了できました。

広報部会



私のふるさと紹介



藤崎地区 中村 友江
宮城県 登米市

私のふるさととは宮城県北部、岩手県との県境にある登米市石越町です。人口8千人程の小さな町ですが、東北本線の石越駅があることが自慢です。栗駒山を望む田園風景と三代に渡る大家族や近所の子供達と共に暮らした日々が懐かしく思えます。蛍を追い、タニシやドジョウ、シジミなどを採り、柿や栗など季節の旬なものをいつも味わっていました。

現在放送されているNHKの朝ドラ『ひよっこ』は茨城県が舞台ですが、私の育った年代、環境から何かがそっくりです。人々が生き生きと暮らし、人情があった昭和の風景そのもので、時々涙を流しながら拝見しております。

お風呂は外風呂で「湯殿」と呼び、必

ず湯加減を尋ね、ぬるいと言われれば薪を燃やして温め、家族全員が順番に無駄なく入浴しました。雨降りの中の火おこしは恨めしい限りで、冬は熱い雪を入れて温度を下げ、しもやけは毎年のことで、洗髪した頭で母屋に戻ると髪の毛が凍ってバリバリになっていました。このような生活でも不平不満を言わず、もつと便利で楽しい生活があるとは思わず過ごせたのは、どこか家庭も同じような暮らしが当たり前だっただけだと思っております。

東京オリンピックは中学生の時に経験しており、同級生が「集団就職列車」で上京するのを石越駅で見送りました。

「星影のワルツ」を作詩された詩人の白鳥省吾先生も宮城県の出身で「生れ故郷の栗駒山は富士の山よりなつかしや」と歌われました。

私にとつてのふるさととは懐かしく温かい記憶そのものです。

東北でよかった。

秋津地区 小田 英機
島根県 隠岐島
島根半島の北方約五十kmにある隠岐島は、主な島四島と付属の約百八十の小島からなります。古くから遠流の島として知られ、小野篁、後鳥羽上皇、後醍醐天皇等、皆様ご存知



の方々流されました。江戸時代から明治の初めにかけては北海道と大阪を結んで西廻り航路の北前船が頻りに寄港し、そのため各地の文化が船乗りにより伝えられ、祭事や節回しがよく似た民謡などが残っております。又、闘牛が盛んに行われており、遠流の後鳥羽上皇を慰めるために始まったと伝わっています。

特筆すべきは隠岐古典相撲で、昔から神事として行われたものが、現在も島内に祝いの事があった時(例えば隠岐空港完成等)のみ、全島あげて一昼夜にわたって約三百番の相撲を取り続けます。相撲は二番行われ、

最初に勝った者は次の一番は相手に勝ちを譲り一勝一敗になるように取組まれます。狭い島内で人間関係にしこりを残さないための配慮と云われ、この事から古典相撲は人情相撲とも呼ばれます。実質上の勝者は先勝、つまり一番目に勝った力士です。長さ約5mの太い柱が懸賞として勝力士に授与され、力士はそれに跨り、人々に担がれ地元で凱旋します。その柱は、力士自宅の玄関軒下に吊り下げられ名譽を長く称えられます。大相撲力士の「隠岐の海」も嘗て古典相撲経験者ですが、ご存知の通りの相撲で同郷人としては歯痒いばかりです。錦織良成監督映画『渾身』もこの古典相撲を題材にしており、隠岐で撮影されました。

その他、隠岐は科学的に重要な、美しい地質遺産を有する自然公園として、ユネスコより隠岐世界ジオパークに認定され、見どころやパワースポット、ブルメススポットも沢山ありますが、本土から遠いためか、旅行者数も伸びていません。個人的には、民泊等利用して、釣り、流人史跡・伝説巡り、観光等ゆっくり楽しんで頂きたいと思えます。写真は、ローソク島で、夕日が没する時、島の先端にかかり、ローソクに灯が点ったようので、観光客に人気のスポットとなっています。